

平成27年10月10日 発行

(公益社団法人) 日本産業退職者協会

# 築地・海鮮丼川柳会

会報一〇七号

平成27年10月10日 旬会



宿題『果物一切』

津田 暹 選

前 抜

(没なし 全句掲載 一星句を追加しました)

桃がぶり畠で食べたあの美さ(「美さ」もありだが…)

あの時のぶどう摘まんた白い指(「あの」が微妙)

桃太郎名前に負けぬトマトです(一般的には野菜)

旬の桃食べ頃ですと俺誘う

四面楚歌苜鉛の弾に見え

下々のありつけるのはバナナのみ

塀越えて隣の柿は食べ頃だ

リンゴ丸かじり少女の不敵な眼

アップルを噛みアイホンに眠らされ

猛暑来るレモンを確とシンロック

世界狙う華のリンゴは根比べ

朝の金果物食べてまだ元氣

和解した姉妹の卓のラフランス

味わえば並木路子に会えそうな

佳 作

氾濫に家ごと梨も流される

放射能知らずに実るサクランボ

ボルドーの氣候バツカス揉めている

仏壇のメロン夜中に香りたち

柿の木を植えて実る日待つ傘寿

楊貴妃のライチ八百屋で売っている

なんでなのあなたは野菜メロン様

スーパールの奥でメロンがすまし顔

鮫の海遊泳禁止西瓜割る

皺寄ったミカンを食べる老夫婦

艶 子

瑞 男

弘 純

ひま 人

南穂 子

瑞 男

あさ じ

弘

瑞 男

一 星

弘 純

貴香 子

一 星

ひま 人

やほ こ

あさ じ

南穂 子

艶 子

やほ こ

弘

弘 純

ひま 人

一 星

あさ じ

入れ歯ではかなわぬリンゴ丸かじり

### 五 客

秋空に明日香路の柿目に浮かぶ  
梨の皮切らずに剥いて拍手浴び  
アボカドが極上トロになる不思議  
手すき神に水菓子とあり宿の膳  
すいとんに平和を祈る敗戦日

### 三 才

独り者カット西瓜で夏を食べ  
夫老いて生家の柿をなつかしむ  
家計簿の近くに何時も居るバナナ

### 雑詠 互選句

- |    |    |                  |   |    |
|----|----|------------------|---|----|
| ④  | 1  | 安保法阻止へ猛暑の旗の中     | 一 | 星  |
| ⑥  | 2  | 大相撲いつもの席の艶な人     | 一 | 星  |
| ②  | 3  | 起きてよ起きて被爆の赤子揺する姉 | 弘 | 純  |
| ②  | 4  | 「追っかけ」に今日も元気で子孝行 | 和 | 子  |
| ②  | 5  | 口紅が五十路に戻す夜の顔     | 貴 | 香子 |
| 6  | 6  | 工事現場蝶よお前も出稼ぎか    | 弘 |    |
| 7  | 7  | この暑さ凌ぎ日本の四季を待つ   | 艶 | 子  |
| ⑧  | 8  | シニア席占領されてスマホ席    | ひ | ま  |
| ②  | 9  | 自爆テロ命じられた子 神の黙   | 弘 |    |
| 10 | 10 | シミ抜きを姑から嫁へマタニティー | や | ほ  |
| 11 | 11 | 社長にもチャレンジほしい大会社  | あ | さ  |
| ④  | 12 | 知らぬ人増えて猛暑の原爆忌    | 瑞 | 男  |
| 13 | 13 | 登校の門で顔売り票をよむ     | 和 | 子  |
| ②  | 14 | とりあえず辺野古普天間夏休み   | 瑞 | 男  |
| ②  | 15 | なでしこの戦い抜いた光る銀    | や | ほ  |
| 16 | 16 | 飲む打つ買うやり放題で医者通い  | あ | さ  |

- ② 17 八月の痛み猛暑と蘇る 南穂子  
 ③ 18 病室の椅子に温もり孫帰る ひま人  
 ② 19 目を病んで右脳左脳も霧の中 艶子  
 20 猛暑の使い足取りもつれ欠き氷 弘純  
 21 予備校の無料講義で先を買い 南穂子  
 22 ラウンジのBGMが恋誘う 貴香子

## ☆ 今月の佳句鑑賞

### ◎ 『果物一切』

家計簿の近くに何時も居るバナナ

佐藤 弘

スーパーでよく特売されるバナナは一房数本で百円程度、他の果物に比べて格段に安い。子供にも好まれ主婦の大いなる味方。苦しい家計のお助けマンを「家計簿の近くに何時も居る」という間接的にかつ独特の詠み方をして、まさに川柳味溢れる作品となった。

### ◎ 『自由吟』

起きてよ起きて被爆の赤子揺する姉

有馬 弘純

戦後七十年の今年、テレビでもいろいろな特集が放映された。この作品はその中の一つ、NHKテレビで放映された「ドラマ被爆70年 一番電車が走った」の一場面。爆心地から3キロ離れた橋のたもとで撮られた写真から、そこに写っている生存者の証言を動画にした。観逃した方はアーカイブスでは是非！

## ☆ 優れた鑑賞文の鑑賞

優れた鑑賞文に触れることによって、句の読解力を強め、結果として作句力・選句力の向上につなげたい。

知ってるかアハハと手品やめにする 相元 紋太

紋太氏の人のよき、あたたかさがいっぱいに出たいうような句。以前に紹介した〈話し合えば女に負けること多し〉もそうだったが、川柳がささくれた人の心をやわらげ、ふんわりさせてくれるその効果は、紋太作品においていつそういちじるしい。私の好きなのにへつまみ喰いした手で電気消して寝る〉というのがあるが、この電気も昔ふうの頭上にぶらさがるガラスの笠つきの、パチンとひねるそれであろう。

\* 『川柳でんでん太鼓』 田辺聖子著 より



### 次回のご案内

11月14日 (第二土曜日)

課題 『虫一切』 三句 (当日出句)  
自由吟 (来月互選用) 一二句 (連記で可)

**\*お休みの場合は課題、雑詠共、句会日一週間前迄に  
遅宛に直送下さい。急な場合は直前でも結構です。**

**(郵送・FAX・メールで可)**